

自ら学び、他と協働して課題を解決する生徒の育成

《令和2年度後期との比較》

※評価方法は裏面に記載

＜視点1＞【子供たちが安全・安心に学ぶ学校】

Table with 4 columns: アンケート結果 (赤字...着目した数値), 自己評価, 成果(○)と課題(▲)及び分析(⇒), 改善策(●)・最終評価での目標数値. Rows include student and guardian responses on school safety and well-being.

3.6

＜視点2＞【生徒の確かな学びを保障する学校】

Table with 4 columns: アンケート結果 (赤字...着目した数値), 自己評価, 成果(○)と課題(▲)及び分析(⇒), 改善策(●)・最終評価での目標数値. Rows include student and guardian responses on learning quality and safety at home.

2.2

【課題①】生徒の主体的活動
<改善策>
○生徒の活躍の場の充実
○生徒の活動への関わり方の改善

【課題②】学力向上
<改善策>
○生徒に説明・対話させる授業への改善
○補充的・発展的指導
○タブレットの積極的活用

【課題③】家庭学習
<改善策>
○家庭学習の取組の見直し

【課題④】ネット利用の仕方
<改善策>
○ネット利用について学ぶ機会
○家庭のきまりづくり

<視点3>【職員が協働し高めあい確かな指導力を育成する学校】

アンケート結果(赤字…着目した数値)		自己評価	成果(○)と課題(▲)及び分析(⇒)	改善策(●)・最終評価での目標数値
教員	本校の教育目標を具現化して、教育活動に取り組んでいる。	100% → a 4	○教員:教育目標を具現化して教育活動に取り組んでいる。 ▲教員:午後8時までに退校できていない。 ⇒午後8時までに退校できない原因を確認し、改善を図る必要がある。	【目標数値:教員「業務の効率化をすすめ、午後8時までに退校している。」100%】 ●業務の平準化 ・午後8時までに退校できない原因を共有し、業務の平準化に向けた具体的な対応をすすめる。
教員	PDCAサイクルを回した業務となるように努めている。	82% / b 3		
教員	自ら教師としての力量が高まるよう努めている。	91% / a 4		
教員	業務の効率化をすすめ、午後8時までに退校している。	64% ↓ d 1		

3.0

【課題⑤】業務の平準化

<改善策>

- 最終退校時刻(20時)を守る
- 平準化に向けた具体的対応

<視点4>【地域社会の一員として信頼される学校】

アンケート結果(赤字…着目した数値)		自己評価	成果(○)と課題(▲)及び分析(⇒)	改善策(●)・最終評価での目標数値		
生徒	地域の人に、自分からすすんであいさつをしている。	92% → a 4	○生徒:「地域の人に、自分からすすんであいさつしている。」割合が高い。 ⇒今後も挨拶することのよさ・大切さを指導していく。	【目標数値:生徒「地域の人・もの・ことから、いろいろなことを学んでいる」90%】 【目標数値:教員「まちの先生を積極的に活用している」100%】 ●まちの先生の活用 ・海洋教育等、2学期以降の計画を見直し、まちの先生を活用した取組をすすめる。		
保護者	お子さんは、すすんで挨拶ができていますか。	82% / b 3				
生徒	地域の人・もの・ことから、いろいろなことを学んでいる。	74% ↓ c 2	○保護者:「学校は、地域と連携した体験学習にすすんで取り組んでいる。」と感じている保護者が約9割である。 ▲生徒:「地域の人・もの・ことから、いろいろなことを学んでいる。」と感じる生徒が約3/4である。 ⇒学校として、まちの先生を計画的に活用できていないのではないかと。			
	地域への行事には進んで参加している。	51% ↓ d 1				
保護者	お子さんは、地域のよさや大切さを感じていますか。	82% / b 3				
	学校は、地域と連携した体験活動にすすんで取り組んでいると思いますか。	89% / b 3				
教員	まちの先生を積極的に活用している。	50% ↓ d 1				
保護者	学校は、保護者との連絡を密にしていると思いますか。	89% → b 3			○保護者:「学校からの各種便りやホームページでの情報発信は、十分である。」と感じている。 ▲教員:「地域・保護者へ、積極的に情報発信を行っている。」割合が約2/3である。 ⇒学校ホームページや学級通信等多様な手段で、掲載すべき情報を積極的に提案しアップする。	
	学校からの各種便りやホームページでの情報発信は、十分ですか。	97% → a 4				
教員	地域・保護者へ、積極的に情報発信を行っている。	64% ↓ d 1				

2.5

【課題⑥】地域体験活動

<改善策>

- 計画の見直し・実践
- まちの先生の活用(学期に1回)

《アンケート集計から自己評価までの流れ》

- アンケート結果から、各項目をa~dの4段階に評価する
 「そう思う」+「だいたいそう思う」が90%以上 ⇒a
 「そう思う」+「だいたいそう思う」が80%以上 ⇒b
 「そう思う」+「だいたいそう思う」が70%以上 ⇒c
 「そう思う」+「だいたいそう思う」が70%未満 ⇒d
- ①の4段階の評価を、a=4 b=3 c=2 d=1とし、平均を出す
- 以下の基準で平均値から自己評価を行う
 平均が3.5以上 ⇒A
 平均が3.0~3.4 ⇒B
 平均が2.3~2.9 ⇒C
 平均が2.3未満 ⇒D

- ➡ 5%以上増えている
- ⬆ 10%以上増えている

- ➡ 5%以上減っている
- ⬆ 10%以上減っている

※令和2年度後期との比較

【保護者から】

- ・不満はありません。可能であれば、地域のこともっと学べるとうれしいです。(1年)
- ・どんな子にもよいところはあると思うので、笑顔で名前を呼んでいいところを見つけてあげてほしい。クラスで必要とされるように、何か小さなことでも頼んでさせてほしい。私も先生に頼まれて嬉しかったことを覚えています。(1年)
- ・最近、イノシシや熊の出没により登下校中の安全面に不安があるので、学校から家が遠い生徒の、スクールバス利用についてきちんと考えてほしい。(1・2年)
- ・部活動の予定を知るため、ホームページの更新を早めに出していただければ助かります。(2年)
- ・ノートの整理の仕方や勉強の仕方がわからないようです。漢字が苦手なので、漢字検定合格に向けて親子で頑張ろうと話しているところです。(2年)
- ・プリントがすぐ届かないことが多い。部活動の連絡をメール添付で送って下さるのはありがたい。(2年)
- ・娘のことは温かく見守っています。今のままでよいです。ありがとうございます。(2年)
- ・制服に中間服(ベストやカーディガン等)があると良かったと思います。冬もスノーブーツだけでなく、長靴も選べるとよい。(3年)
- ・ホームページがこまめに更新されていて、学校の様子がよくわかります。これからも家で学校の話作りになっています。学校の雰囲気がよくなっていると子どもが言っていますし、私も感じています。(3年)